

御挨拶

国際交流推進室ニュース第 21 号をお届けします。

本年1月から流行が始まった新型コロナウイルス感染症の影響は、未だ解決策が見つからないまま、2020 年を終わろうとしています。この中で 2020 年度授業が開始され、学生・教員ともに対面授業からオンライン授業への変更に戸惑いながら、後期授業を終わろうとしています。

繊維学部においては、感染及び拡散防止のため3つの密を防ぐ授業・研究活動の対策などを実施しておりますが、感染の終息は見えない中、これからも教職員含め、留学生に対するケアを十二分に実施していく必要があると考えております。

連日、新型コロナウイルス感染症というネガティブなニュースがトップで報道されます。しかし今は、粛々と目に見えない新型コロナウイルス感染症という「嵐」が過ぎ去るのを待ちつつ、終息した後の来たる芽吹きのための準備期間と考えるのが大切かもしれません。

日頃から多くのご支援をいただいている皆様、信州大学や繊維学部と協定関係にある機関の皆様、留学生の皆様にとって、ご安全にお過ごしになられますことお祈り申し上げます。皆様からの多くのご厚情とご支援に対し、心より御礼を申し上げますとともに、今後も引き続きご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

行事

【安徽工程大学紡織服装学院よりマスクの贈り物【2020 年 5 月】】

2020 年 5 月、安徽工程大学紡織服装学院（中国）より繊維学部へマスク 2,000 枚の寄付をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大にともない、国際的な学術交流活動の中止が余儀なくされる中、この事態が早期に落ち着くことを願って贈られたものです。

安徽工程大学紡織服装学院と繊維学部は留学生・研究者の受入、国際会議への参加、共同研究など活発な交流が行われおり、2020 年内には学部間交流協定書を取り交わす予定です。頂

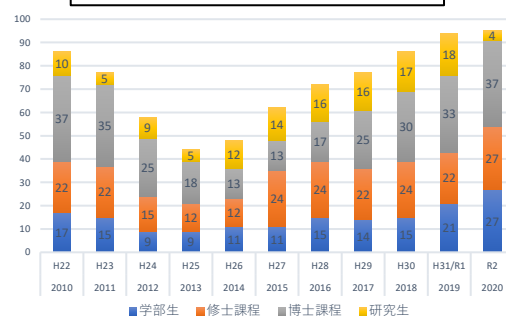
戴したマスクは、学生の皆さんの配布用に活用させていただきます。

繊維学部留学生の動向

2020 年 3 月 24 日に、事務棟（D1 棟）2 階の大会議室を式場とし、博士課程修了生（全員）、修士課程修了生代表（分野代表 4 名）、学部卒業生代表（学科代表 4 名）、学長、理事（一部）、学部長、評議員、および担当事務職員のみを出席者として、令和元年度の卒業式・学位記授与式を行うこととしました。外国人留学生、博士課程 5 名、修士課程 3 名、学部生 2 名を送り出しました。

2020 年 7 月現在の繊維学部（学部生、修士課程、博士課程、研究生含む）の留学生の総数は、95 名となりました。

外国人留学生受入推移 2010 (H22)~2020 (R2)



繊維学部への留学状況（課程と出身国）

博士課程	37
修士課程	27
学部	27
研究生等	4
計	95

中国	50
ベトナム	14
韓国	9
パキスタン	7
マレーシア	3
台湾	2
モンゴル	2
モロッコ	2
タイ	2
インドネシア	1
フランス	1
ドイツ	1
バングラデシュ	1
計	95

交流協定の締結

繊維学部では国際交流を推進し、世界 24 カ国、計 64 の大学や研究機関と交流協定を結んでおります。交流協定を結ぶことで、双方の学生は交換留学の際に、入学金や授業料が免除されるなどのメリットがあります。

本年度は以下の大学と交流協定を締結・更新しております。

2020 年度交流協定締結・更新状況

	交流協定締結大学名	国名
新規	安徽工程大学国際教育学院	中国
更新	南通大学紡織服裝学院	中国
更新	フランス国立繊維工芸工業高等学院 (ダブルディプロマプログラム)	フランス
更新	オート・アルザス大学南アルザス 国立高等理工学院	フランス
更新	メヘラン工科大学繊維学部	パキスタン
更新	慶北大学校工科大学	韓国
更新	慶北大学校農業生命科学大学	韓国
更新	ボロース大学 繊維学部	スウェーデン
更新手続き中	香港理工大学繊維被服研究所	中国
更新手続き中	リヨン繊維化学技術院	フランス

留学生のための日本語講座

繊維学部では留学生のために、正規の授業とは別に日本語講座を提供しております。従来であれば、希望する留学生は週に 1, 2 回日本語の先生のもとで日本語を学んでおりましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で前期中は休講を余儀なくされました。しかし、留学生から多くの要望もいただき、後期はオンラインで本講座を再開することができております。

現在は 4 クラス(初級 3、初中級 1)を開講し、計 24 名の留学生が授業や研究活動の合間に日本語を学んでおります。

留学生代表ご挨拶

私たち留学生への信州大学繊維学部国際交流推進室の温かいご支援、心から感謝申し上げます。

上田キャンパスには様々な国から来た留学生がいます。留学生の皆が夢と不安を抱えながら日本に来ています。国際交流推進室の助

けを借りて、留学生の皆が心配なくて有意義な学生生活を送ることができています。卒業してからも大学で学んだことを忘れず、母国と日本の関係を深められるよう、母国と日本の文化や科学交流の橋になって、自分の力を貢献したいと考えております。

今後も一層、新型コロナウイルス感染のリスク回避に最大限努め、留学生として喜び、誇り、自信を持って残りの学生生活をお過ごしください。最後に、信州大学繊維学部国際交流推進室の支援に感謝します、本当にありがとうございました。

繊維学部留学生代表 XU PING

国際交流推進室 室員紹介

平林公男(室長、応用生物科学科)
金 翼水(副室長、機能機械学コース)
小林俊一(副室長、バイオエンジニアリングコース)
鮑 カ民(機能機械学コース)
ハニウッドマイケル(感性工学コース)
平田雄一(応用分子化学コース)
福長 博(ファイバー材料工学コース)
若月 薫(機能機械学コース)
金 晃屋(感性工学コース)
朱 春紅(先進繊維工学コース)

本ニュースへの意見、要望などありましたら、国際交流推進室メールアドレス (fkokusai@shinshu-u.ac.jp)へお寄せください。

◆国際交流推進室ホームページ◆

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/exchange/>